

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募に関する情報（令和6年9月17日～10月16日） 最終

【瀬戸内海海区漁業調整委員会】

定数 15人（漁業者代表9人 学識4人 中立2人）

応募及び推薦を受けた者の数 13人（漁業者代表9人 学識4人 中立1人）※うち漁業者及び漁業従事者の数 11人
 応募した者の数 2人（漁業者代表1人 学識1人 中立2人）※うち漁業者及び漁業従事者の数 0人

応募区分

1. 漁業者代表委員（定数9人）

推薦又は応募の別	氏名	年齢	性別	職業	推薦を受けた者及び応募者			推薦をした者				推薦又は応募の理由			
					経歴	漁業に関する識見を有すると認められる資格、実務経験等	漁業者等該当	漁業経営の状況			法人又は団体の名称及び代表者氏名（個人の場合は氏名、性別）		構成員の資格・要件等（個人の場合は職業、年齢）	構成員の数（法人又は団体の場合）	法人又は団体の活動目的
								漁業種類	主な操業区域	住所又は事業場を有する地区					
応募及び団体推薦	戎本 裕明	62	男	漁業	平成21年6月～現在 平成26年6月～現在 平成29年4月～現在 平成30年6月～令和3年6月 令和元年6月～現在 令和6年7月～現在	明石浦漁業協同組合代表理事組 全国共済水産業協同組合連合会 兵庫県推進本部会長 日本漁船保険組合兵庫県内海支所 運営委員 明石市漁業組合連合会会長 兵庫県漁業協同組合連合会代表監事 全国共済水産業協同組合連合会 代表理事副会長	経歴のとおり	該当	海苔養殖漁業 小型底びき網漁業	播磨灘	明石市	一般社団法人 播磨漁友会 会長 大河 優	播磨沿岸海域における漁業協同組合で、この法人の目的に賛同して入会したものの。	16人	私は、昭和56年から漁業に従事し、現在は、冬から春は海苔養殖漁業、夏場は小型底びき網漁業の経営を行っています。平成21年より明石浦漁業協同組合の組合長に就任し、厳しい漁業経営が続く状況下において、漁協の経営基盤の強化と漁業経営の安定の発展に努めてまいりました。水産業を取り巻く環境は厳しさを増すばかりですが、漁協の組合長だけでなく漁業系統団体の役員としての経験を活かし、兵庫県の漁業の発展に貢献したいと考え応募しました。
応募及び団体推薦	大河 優	64	男	漁業	昭和54年～現在 平成22年6月～現在 令和6年6月～現在 令和3年12月～現在 平成29年4月～現在	漁業に従事（S54～船びき網、S56～さわらはなつぎ網、S63～カキ養殖） 赤穂市漁業協同組合 代表理事組 一般社団法人播磨漁友会会長 兵庫県漁業協同組合連合会 理事 全国漁業信用基金協会兵庫支所運営委員	経歴のとおり	該当	カキ養殖業 船曳網漁業	播磨灘	赤穂市	一般社団法人 播磨漁友会 会長 大河 優	播磨沿岸海域における漁業協同組合で、この法人の目的に賛同して入会したものの。	16人	私は、昭和54年から漁業に従事し、船びき網漁業、さわらはなつぎ網漁業を営み、現在に至るまでカキ養殖業の経営を行っています。平成22年より赤穂市漁業協同組合の組合長を務めることとなり、現在に至るまでの約14年にわたり、漁業経営の安定と地域漁業の振興に取り組みしてきました。県下の漁業関連団体の役員として活動した経験を活かし、資源管理の推進や漁業秩序の維持に貢献したいと考え応募しました。
応募及び団体推薦	片山 守	61	男	漁業	昭和56年3月1日～現在 平成31年3月～現在 平成14年5月31日～平成20年5月30日 平成14年6月29日～平成20年6月21日 平成31年4月～現在 令和3年4月～現在 令和6年7月29日～現在	家業の漁業に従事し経営に至る。 青波浦漁業協同組合 代表理事組 淡路地区漁協青壮年部連合会 会長 兵庫県漁協青壮年部連合会 会長 日本漁船保険組合兵庫県内海支所 運営委員 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会 漁業者代表委員 兵庫県漁業協同組合連合会 副会長理事	経歴のとおり	該当	船びき網漁業	播磨灘	淡路市	一般社団法人 淡路水交会 会長 片山 守	淡路島沿岸の漁業組合でこの法人の目的に賛同できること。	17人	私は昭和56年より家業である漁業に従事し、主に船びき網漁業を営んでいます。平成31年3月より青波浦漁業協同組合の組合長を務めることとなり、県下の漁業関連団体、組織の役員として活動させていただき、地元漁業のさらなる発展に寄与したいと考えています。漁業を取り巻く環境が変わる中、将来の漁業の安定、後継者育成に力を注いでいく所存であります。兵庫県漁協青壮年部連合会の時の経験や人脈を活かしたいと思っております。今後の兵庫県の漁業のために全力を挙げて貢献したいと思っております。
応募及び団体推薦	小磯 富男	70	男	漁業	昭和45年4月～現在 昭和52年10月～現在 平成20年4月～現在 平成22年6月～平成25年6月 平成20年8月～現在	家業の漁業に従事し経営に至る。 S45～たこつば漁業に従事、S60～同経営 ワカメ養殖 南あわじ漁業協同組合 代表理事組 兵庫県漁業協同組合連合会 役員 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会 漁業者代表委員	経歴のとおり	該当	ワカメ養殖業 たこつば漁業	播磨灘	南あわじ市	一般社団法人 淡路水交会 会長 片山 守	淡路島沿岸の漁業組合でこの法人の目的に賛同できること。	17人	私は昭和45年より家業である漁業に従事し、漁船漁業に加えて現在は南あわじの特産であるワカメの養殖業の経営を行っています。平成20年より南あわじ漁業協同組合の組合長を務めることとなり、その後、淡路水交会をはじめとする、県下の漁業関連団体の役員として活動させていただき、地域漁業のさらなる発展に寄与したいと考えています。海区漁業調整委員会委員を平成20年より務めさせていただき、様々なことを審議してきました。私がこれまで培った経験を活かし、兵庫県の漁業のため貢献したいと考え応募しました。
応募及び団体推薦	竹中 太作	55	男	漁業	昭和60年4月～現在 平成25年6月15日～現在 令和3年12月8日～現在 令和4年6月18日～現在 令和4年6月27日～現在	家業の漁業に従事し経営に至る。 小型底曳網漁業従事 坊勢漁業協同組合 理事 兵庫県漁業協同組合連合会 理事 坊勢漁業協同組合 代表理事組 兵庫県漁業共済組合 理事	経歴のとおり	該当	小型底びき網漁業	播磨灘	姫路市	一般社団法人 播磨漁友会 会長 大河 優	播磨沿岸海域における漁業協同組合で、この法人の目的に賛同して入会したものの。	16人	私は、昭和60年より家業である漁業に従事し、現在は小型底びき網漁業の経営を行っています。平成25年より坊勢漁業協同組合の理事に就任し、令和4年6月から組合長を務めさせていただき、地域漁業の振興と漁業経営の安定化に取り組んでいるところであります。漁業を取り巻く様々な課題に対し、海区漁業調整委員会の役割は益々重要なものになりましたが、これまで培った経験を活かし、兵庫県の漁業の発展並びに漁業秩序の維持に貢献したいと考え応募しました。
応募及び団体推薦	中澤 卓生	65	男	漁業	昭和54年2月～現在 平成6年5月～現在 平成22年1月～現在 平成22年6月～現在 平成24年8月～現在	家業の漁業に従事し経営に至る。 形的漁業協同組合 組合長 姫路市漁業協同組合 代表理事組 （一社）播磨漁友会 副会長 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会 漁業者代表委員	経歴のとおり	該当	漁業種漁業 海藻・刺網	播磨灘	姫路市	一般社団法人 播磨漁友会 会長 大河 優	播磨沿岸海域における漁業協同組合で、この法人の目的に賛同して入会したものの。	16人	私は昭和54年より家業である漁業に従事し、主に漁業種漁業の経営を行っています。また、平成6年より形的漁業協同組合の組合長を務め、合併により平成22年より姫路市漁業協同組合の組合長に就任することとなり、その後、播磨漁友会をはじめとする、県下の漁業関連団体の役員として活動しています。海区漁業調整委員会委員としても平成24年より務めさせていただき、地元漁業のさらなる発展に寄与したいと考えています。漁業を取り巻く諸課題に対する、海区漁業調整委員会の役割はより一層重要なものになりましたが、私がこれまで培った経験や人脈を活かし、兵庫県の漁業のため貢献したいと考え応募しました。
応募及び団体推薦	新居 只吉	63	男	漁業	昭和54年4月～現在 令和6年3月～現在 昭和57年1月～昭和62年1月 平成22年1月～平成26年1月 平成27年3月～令和6年3月30日 令和2年4月～令和4年3月 令和6年5月～現在 令和6年5月～現在	小型機船底びき網漁業に従事し経営に至る。 淡路島岩屋漁業協同組合代表理事組 淡路島岩屋漁業協同組合青年部 はやしお会長 淡路島岩屋漁業協同組合 会長 淡路島岩屋漁業協同組合 兼 理事 淡路島岩屋地区小型機船底びき網協議会 会長 東淡漁業連絡協議会 会長 一般社団法人東淡漁業連絡協議会 代表理事	経歴のとおり	該当	小型底曳網漁業	大阪湾	淡路市	一般社団法人 淡路水交会 会長 片山 守	淡路島沿岸の漁業組合でこの法人の目的に賛同できること。	17人	私は、昭和54年から家業の小型底びき網漁業を営んでおり、現在も小型底びき網漁業を営んでいます。令和2年1月から淡路東浦地区小型機船底びき網協議会の会長に就任し、小型魚の再放流などの資源管理に取り組むとともに漁業秩序の維持を図ってきました。令和6年3月から淡路島岩屋漁業協同組合の組合長を務めることとなり、これまでの経験を活かし、県下全体の水産業の発展に寄与したいと考え応募しました。
応募及び団体推薦	前田 若男	54	男	漁業	平成4年4月～現在 平成14年6月～現在 平成19年6月～現在 平成25年6月～令和元年6月 令和3年4月～現在	家業の漁業に従事し経営に至る。 平成4年から養殖漁業に従事 魚類養殖（トラフグ、サクラマス等） 福良漁業協同組合 代表理事組 兵庫県漁業共済組合 役員 （昭4122.6～副組合長） 兵庫県漁業協同組合連合会 役員 県なぎさ信漁連 役員 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会 漁業者代表委員	経歴のとおり	該当	魚類養殖業	紀伊水道	南あわじ市	一般社団法人 淡路水交会 会長 片山 守	淡路島沿岸の漁業組合でこの法人の目的に賛同できること。	17人	私は平成4年より家業である漁業に従事し、現在、主に魚類養殖の経営を行っています。平成14年より福良漁業協同組合の組合長を務めることとなり、その後、淡路水交会をはじめとする、県下の漁業関連団体、組織の役員として活動させていただき、地元漁業のさらなる発展に寄与したいと考えています。漁業を取り巻く環境が変わる中、海区漁業調整委員会の役割はますます重要なものになりましたが、私がこれまで培った経験や人脈を活かし、兵庫県の漁業のため貢献したいと考え応募しました。
応募及び団体推薦	保田 友也	67	男	漁業	昭和52年2月～現在 令和5年6月～現在 平成26年6月～令和5年5月 令和6年6月～現在 令和6年6月～現在	家業の漁業に従事し経営に至る。 S52～船曳網漁業従事 津名漁業協同組合代表理事組 津名漁業協同組合 理事 一般社団法人淡路水交会副会長 東浦水交会 会長	経歴のとおり	該当	船びき網漁業 ワカメ養殖	大阪湾	淡路市	一般社団法人 淡路水交会 会長 片山 守	淡路島沿岸の漁業組合でこの法人の目的に賛同できること。	17人	私は、昭和52年から47年以上にわたり船曳漁業を営んできました。平成26年から津名漁業協同組合の理事を務め、令和5年6月より津名漁業協同組合の組合長に就任し、漁協経営の安定化と地元漁業の振興に取り組んできました。漁業を取り巻く環境が変化中、海区漁業調整委員会の役割は益々重要なものになりましたが、これまでの漁業の経験と知識を活かし、兵庫県の漁業の発展並びに漁業秩序の維持に貢献したいと考え応募しました。

2. 学識委員（定数4人）

推薦を受けた者及び応募者										推薦をした者				推薦又は応募の理由	
推薦又は 応募の別	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業に関する識見を有すると認められる資格、実務経験等	漁業者等該当	漁業経営の状況			法人又は団体の名称及び代表者氏名 (個人の場合は氏名、性別)	構成員の資格・要件等 (個人の場合は職業、年齢)	構成員の数 (法人又は団体の場合)	法人又は団体の活動目的	
								漁業種類	主な操業区域	住所又は事業場を有する地区					
応募及び 団体推薦	井上 二三枝	76	女		平成13年5月～現在 平成13年4月～現在 平成13年4月～現在 平成15年4月～現在 平成28年8月～現在 神戸市漁協女性部 女性部長 摂津地区漁協女性部連合会 会長 兵庫県漁協女性部連合会 副会長 神戸地区農漁村女性組織連絡協議会 副会長 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会 学識経験委員	経歴のとおり	該当				摂津漁業協会 会長 山田 智昭	摂津海区を漁場とする、神戸市・兵庫・明石浦・淡路島岩屋漁協及び摂津船びき網漁業協議会・神戸市漁業協同組合底曳網協議会をもって構成	19人	摂津海域を漁場として営むものが漁業環境の保全・会員相互の親睦と相まって漁業の振興に資することを目的とする	私は漁協女性部として、消費者への料理教室や広報を通じて、地元の安全でおいしい魚を広く知ってもらう、少しでも地元漁業の経営を応援し、地域の活性化に努めたいと考え長らく活動してきました。 現在、兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会の委員を務めさせていただき、漁業を巡る情勢が厳しい中、漁業法改正に伴い資源管理をすすめる、持続的な漁業の発展を目指す制度になること等を承知しています。 これからの海区委員会でも様々な事柄を審議することになるとは思いますが、その際に私の漁家経営や漁業情勢に関する知識、活動経験を浜を担う女性目線で役立てられないかと思ひ応募しました。
応募及び 団体推薦	田沼 政男	71	男	漁業	昭和44年4月～現在 平成16年7月～現在 平成28年6月～現在 平成16年8月～現在 平成16年8月～現在 家業の漁業に従事し経営に至る。 S44～底曳網・海苔養殖漁業従事 林崎漁業協同組合 代表理事組合長 兵庫県漁業協同組合連合会 会長 (一社)播磨漁友会 理事 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会 学識委員	経歴のとおり	該当	海苔養殖漁業 底曳網漁業 ほか	播磨灘	明石市	一般社団法人 播磨漁友会 会長 大河 優	播磨沿岸海域における漁業協同組合で、この法人の目的に賛同して入会したものの。	16人	播磨沿岸海域における漁業の健全なる発展と漁業振興の安全確保、漁業の安全確保、当海域の漁業振興と漁家生活の安定に資することを目的とする。	私は昭和44年より家業である漁業に従事し、主に海苔養殖漁業の経営を行っています。 平成16年7月より林崎漁業協同組合の組合長を務めることとなり、その後、兵庫県漁業協同組合連合会の会長職ほか、県下の漁業関連団体、組織の役員を務めさせていただき、地域漁業のさらなる発展に寄りたいと考えています。 漁業を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、海区漁業調整委員会においてもこれまで培った経験や人脈を活かし、兵庫県の漁業のために貢献したいと考え応募しました。
応募及び 団体推薦	反田 實	75	男	大学教員	平成20年4月～平成22年3月 平成22年4月～平成25年3月 平成25年4月～令和5年3月 令和6年4月～現在 平成28年8月～現在 兵庫県農林水産技術総合センター 水産技術センター 所長 " 水産技術センター 所長 (嘱託) " 技術参与 (嘱託) 吉備国際大学 客員教授 (非常勤) 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会 公益代表委員	経歴のとおり	該当しない				一般社団法人 兵庫県水産振興基金 理事長 山田 智昭			漁業の持続的な維持安定と豊かな海の創造に資するため必要な事業を行いつつ水産資源の振興と発展に寄与することを目的とする。	県の水産試験場に勤務して以来、イカナゴ、マコガレイをはじめとする水産資源の生態、資源管理や漁場の環境等、県下の水産資源に関する調査研究を担当してきました。 近年は、瀬戸内海環境保全特別措置法に位置づけられた、瀬戸内海を「豊かな海」に再生する方針を推進するため、関係する水産資源と学業種類の調査研究に関わっています。また、大学の水産系学科の教育にも関わっています。 これまでの経験を通して、県内漁業の実情は十分理解しているつもりです。私はこの経験、知見を生かし、兵庫県の漁業が持続的に発展できるように貢献したいと思ひ、漁業調整委員に応募しました。
応募及び 団体推薦	山田 智昭	57	男	漁業	昭和57年4月～現在 令和5年3月～現在 令和5年4月～現在 令和6年6月～現在 令和6年7月～現在 家業の漁業に従事し経営に至る。 神戸市漁業協同組合 代表理事組合長 摂津漁業協会 会長 公財)ひょうご豊かな海づくり協会 理事長 一財)兵庫県水産振興基金 理事長	経歴のとおり	該当	海苔養殖、船びき網	大阪湾	神戸市	摂津漁業協会 会長 山田 智昭	摂津海区を漁場とする、神戸市・兵庫・明石浦・淡路島岩屋漁協及び摂津船びき網漁業協議会・神戸市漁業協同組合底曳網協議会をもって構成	19人	摂津海域を漁場として営むものが漁業環境の保全・会員相互の親睦と相まって漁業の振興に資することを目的とする	私は昭和57年より家業である漁業に従事し、現在は主に海苔養殖・船びき網漁業の経営を行っています。 令和5年3月より自身の所属する神戸市漁業協同組合の組合長を務めることとなり、また、県下の漁業関連団体、組織の役員としても活動し、地元漁業のさらなる発展に寄与したいと日々考えております。 漁業を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、海区調整委員会においてもこれまで培った経験や人脈を生かし、兵庫県の漁業のために貢献したいと考え応募しました。

3. 中立委員（定数2人）

推薦を受けた者及び応募者										推薦をした者				推薦又は応募の理由	
推薦又は 応募の別	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業に関する識見を有すると認められる資格、実務経験等	漁業者等該当	漁業経営の状況			法人又は団体の名称及び代表者氏名 (個人の場合は氏名、性別)	構成員の資格・要件等 (個人の場合は職業、年齢)	構成員の数 (法人又は団体の場合)	法人又は団体の活動目的	
								漁業種類	主な操業区域	住所又は事業場を有する地区					
応募	河原 典史	61	男	大学教員	平成7年4月1日～平成9年3月31日 平成9年4月1日～平成10年3月31日 平成10年4月1日～平成23年3月31日 平成23年4月1日～現在 平成28年4月1日～現在 立命館大学文学部 三号助手 立命館大学文学部 専任講師 立命館大学文学部 助教授 (准教授) 立命館大学文学部 教授 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会 中立委員	兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員 (第20・21期)	該当しない								歴史地理学の視点から日本及び関連地域における漁民の移動と、それともなう水産関連産業の変化について研究を行っています。現在、海区漁業調整委員として務めており、漁業法改正により漁業制度の大きな転換点を迎えるにあたり、海区漁業調整委員会の担う役割は益々大きくなると考えています。 兵庫県のみならず、国内・外の地域の漁業、漁村を幅広くフィールドとして伝統的な漁村文化や漁業制度を研究してきた知見を活かし、中立的な立場で委員会に参加し、兵庫県における漁業の発展に貢献できればと考え、応募します。
応募	榊 由美子	75	女	団体役員	平成21年5月～平成24年5月 平成24年5月～令和4年5月 令和4年5月～現在 令和5年6月～現在 平成28年8月～現在 社団法人兵庫県栄養士会 会長 (公社)兵庫県栄養士会 会長 (公社)兵庫県栄養士会 顧問 (公社)日本栄養士会 名誉会員 兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会 中立委員	兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員として漁業に係る実務に関わり識見を深めているところです。	該当しない								栄養士会では食育や栄養相談、介護・生活習慣病等の予防改善等について、専門的な立場で指導相談や研修、普及啓蒙に取り組んできました。水産物は健康面でも重要な食材で、兵庫県では四季折々に様々な魚介類が水揚げされており、身近に豊かな食材があることは県民の共通の財産です。 平成28年から海区漁業調整委員会に委員として参加させていただき、漁業への理解をより一層深めているところですが、改めて、自らの知識、経験を生かし、委員会で議論される漁業制度のほか、魚離れや魚食普及の推進等に関して、消費者、県民の立場で役立てられないかと思ひ応募しました。